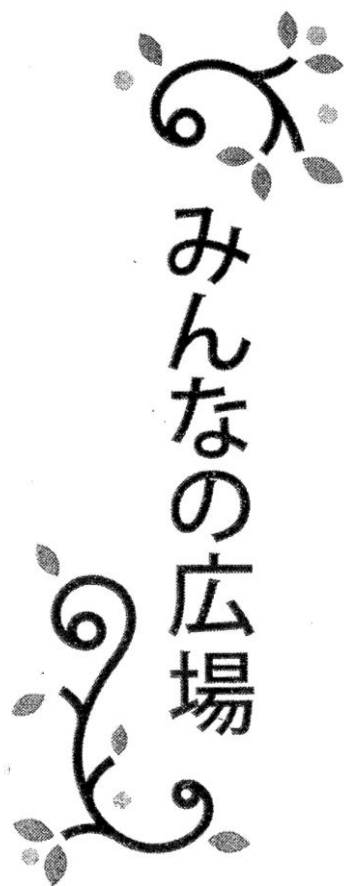




新毎日

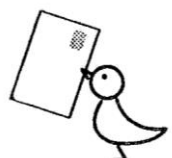


携帯電話より先人の教え

中学生 星野 藍14 (東京都文京区)

昨年6月の登校時間帯に発生した大阪北部地震に關連し、保護者からの要望などを受け、大阪府教育委員会は4月から、公立小中学校への携帯電話などの持ち込みを認めた。しかし、私は必要ないと考えている。

確かに、災害時には安否確認が大事だが、大勢の人は、自分の身は自分で守ることだ。私は、肉親にもかまわず各自ばらばらに、一刻も早く逃げて自分の命を守れという「津波でんでんこ」の教えを知っている。この教えは津波以外の災害時でもいえる。大切な人の安否は気になるが、まずは、相手の無事を信じ、自分の命を自分で守る。携帯電話の普及前からあるこの先人の教えをよくかみしめ、本当に携帯電話などが必要かを考えてほしい。



2019年5月6日（月祝）掲載

「隙間の時間」に勉強したい

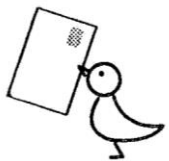
中学生 金子和資^{かずし} 14

僕はこの1年間、大切にしていきたい考えがある。それは5分や10分でも「何もしない無駄な時間」を作らないという考えである。今までも「時間は大切」などのようなことは、さんざん親や大人たちから聞かされてきたが、今年度は高校を受験するので、この考えを実践したい。

まず学校では授業の合間に必ず10分の休みがある。5分間で移動や準備、休憩をし、残りの5分を勉強に充てるとする。1日6時間

の授業があり、昼休みは20分勉強できると考えると1日で40分以上も勉強をする時間を作ることができる。

部活を終えて帰宅し、塾へ行ったり、家で勉強したりする間にも「何もしない時間」が生まれている。少なくとも見積もっても、1日に1時間半は「何もしない時間」がある。これが1年間続くと約550時間にもなる。この隙間の時間に勉強すれば受験の合否にも大いに影響するのではないだろうか。（東京都文京区）



再配達頼まずに済む配慮を

中学生 宮崎陽菜 15

皆さんは宅配便をどのように受け取りますか。今、

家に届けてもらうほかに、コンビニエンスストアや駅の宅配ロッカーなどで荷物を受け取る方法があります。国土交通省は昨年10月調査時点で15%だった荷物の再配達率を引き下げたい考えだそうです。

荷物を頼むときは確実に自分がいる時間をお願いしたり、宅配ロッカーを利用したりするなど工夫をしたいと思います。業者だから負担させて当たり前だとは考えず、届ける人への配慮ができるような生活を送りたいです。

かきという私も先日、宅配便を頼んだときに受け取る時間帯に用事が入ってしまい、そのせいで再配達を頼んでしまいました。このように再配達を頼む人が増え

(東京都文京区)

東京新聞

若者の声

大谷選手復帰

勇気をもろう

中学生 矢後 和也 14

(東京都文京区)

右肘の手術を受けたエンゼルスの大谷翔平選手が、打者として約七カ月ぶりに復帰を果たした。復帰初戦は4打数無安打1打点だったが、今後の活躍に向けて大きな一歩を踏み出した。私も野球をしている。大

きなけがをして長らく試合に出られなかったが、けがはもう少しで治りそうだ。そんな私は、大谷選手を見てとても勇気をもらった。

ある。しかし、大谷選手のフルスイングを見て、自分も恐れず思い切りやろうと考えた。

復帰初戦にもかかわらず、ヘルメットが外れてしまうほどのフルスイングをしたからだ。

大谷選手は強い。二刀流に挑戦できる才能、周りの批判を恐れないメンタル、これらを兼ね備える選手が弱いはずがない。私も大谷選手のような強さを手に入

普通、けがから復帰した選手は再発が怖いために試しでやることが多い。私も今、徐々に運動を再開しているがまだ少し怖さが

りたい。そのために、どんなにつらいことがあっても努力を怠らず、大きな夢へと私は翔んでいく。

東京新聞

若者の声

中学生 鎌田 吉成 14

(東京都文京区)

全力でオンリーワンに

「ナンバーワンにならなくてもいい。もともと特別なオンリーワン」。今では言わずと知れたこのフレーズは、二〇一六年に解散したS.M.A.Pの「世界に一つだけの花」の一節である。受験を控えた中学三年生の自分にぴったりの言葉だと思う。

この歌を知ったのは小学校の音楽の授業だった。四年生くらいだったので、歌詞には特に何も感じず、自分のことに置き換えることはしなかった。受験という大きな壁が現れた今だからこそ、合って

ミラー

いる言葉だと思う。

受験とは自分の限界に挑戦する機会だと思う。僕には得意なことがないので、自分に自信を持ったことがない。そこで、この受験を機に、出し惜しみなく、全力を出し、自分に自信をつけたいのだ。そんな思いの中で「ナンバーワンにならなくてもいい。もともと特別なオンリーワン」という言葉を大切にしていきたいと思った。ただ、僕はこの言葉の意味をそのまま大切にしていきたいわけではない。

この言葉に対する自分なりの考えがある。それは「ナンバーワンを目指さないとオンリーワンにはなれない」ということだ。全力を出せなかった自分に対して、言い訳として「オンリーワン」という言葉を使いたくない。

自分の全力を出しきって限界に挑戦しないと「オンリーワン」にはなれないのではないかと思う。この一年、全力を出し、限界に挑戦していきたい。

そして「オンリーワン」になれたとき「この言葉は自分自身そのものだ」と言えるような、自信をつける一年にしたい。

東京新聞

若者の声

タワーの大技 成功し達成感

中学生 長谷川愛花 14

(東京都文京区)

運動会の組み体操でタワーやピラミッドなど高さのある大技をやらない学校が増えている。安全のため、横に広がる技で美しさを演

出する方針だそうだ。

高さのある技は危険で恐

怖心も出てくる。しかし、

それに打ち勝って集中し、

信頼・協力しあって成功さ

せることで感じられること

も多いと思う。私は小学六

年生の時にタワーに取り組

んだが、成功した時に心は

達成感であふれた。

中学校では男子が組み体

操、女子はダンスと種目が

分かれた。普段へらへらし

ている人も組み体操に真剣

に取り組む姿を見た。伝統

の四段タワーは見ている女

子もみんな成功を願った。

取り組む本人だけでなく

見る人にも感動を与えてく

れる、そんなかっこいい組

み体操をこれからも続け、

成功させていってほしい。

毎日新聞

みんなの広場

助け合うためのあいさつ

中学生 遠藤 涼14 (東京都文京区)

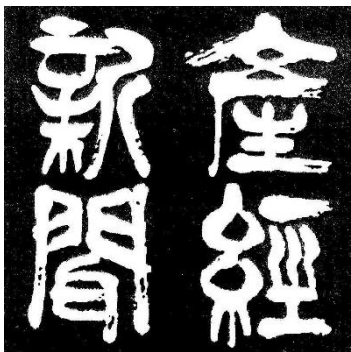
国語の授業で「あいさつは心のパスポート」という文章を読んだ。あいさつをすることで互いに敵意のないことを確認し合うのだという。たしかにこれは一つの効果だが、それ以外にもさまざまなメリットがあいさつにはある。

私が一番大切にしているあいさつについての考えは「あいさつによって、間接的にではあるが、命を守ることにつながる」というものだ。

私の祖父は、知らない人にもためらわずにあいさつをする。その理由を聞くと、「顔を知っていれば、お互いに身の危険が迫ったときに、助け合うことができるからだ」と言った。それを聞いて、あいさつについて、自分の今までの考えが一変した。心にしみるほど共感した。

だから、私は「あいさつが命を守ることにつながる」という考えを大切にしている。たくさんの人と顔見知りになり、助け合えるようになるため、どんな人に対してもあいさつができるよう心がけていきたい。

本校生徒の投書が新聞で取り上げられました。



2019年6月15日(土)付

3年生 宮崎陽菜さん

HOWTO新聞

投書って?!

新聞は、ニュースを報道するだけでなく、みなさんから届けられた意見や感想も掲載しています。その代表的なコーナーが投書欄です。産経新聞では「談話室」という名前で、朝刊に掲載されています。

何を書いても良いのですが、最近起こったニュースなどをテーマに書く人が多いようです。また、父の日を前に「父」など、新聞社がテーマを決めて投稿を呼びかけることもあります。

再配達頼まずに済む配慮を

皆さんは宅配便をどのようにつけ取りますか。配達員に声をかけてもらうほかにも、コンビニエンスストアや駅の宅配ロッカーなどで荷物を受け取る方法があります。国土交通省は昨年10月調査時点で15%だった荷物の再配達率を引き下げたいとしています。業者はかまいたいという声も、宅配便を頼んだときに受け取る時間がない用事が入ってしまった、そのせいで再配達を頼んでしまいました。このように再配達を頼む人が増え

中学生 宮崎陽菜 15

再配達を頼むときは確実に自分がいる時間をお願いしたり、宅配ロッカーを利用したりするなど工夫をしたいと思っています。業者はかかる負担を当てたり前とは考えず、届ける人への配慮が得るような生活を送りたいです。

(東京都文京区)

対して

再配達で、宅配業者の負担を心配した女子中学生の投書

掲載文に対して別の人が感想の投稿をしてくる場合も

掲載文に対して、別の人が意見や感想などを投稿することもあります。例えば、女子中学生が宅配業者の負担増を懸念した投書「再配達頼まずに済む配慮を」(5月20日)に関し、「遠慮せずに再配達の依頼を」という投書が6月4日に掲載されました。宅配業者の男性は女子生徒の配慮に感謝しつつ「最も負担のかかるのは、再配達

の連絡がないこと」と指摘していました。2人のやり取りは、新聞の報道だけでは見えてこない「生の声」です。

宅配業者の男性は感謝し、「再配達連絡が欲しい」とした。

遠慮せずに再配達の依頼を

宅配業 佐藤博光 49

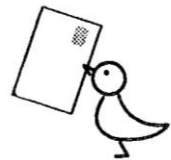
本紙5月20日付の「ひこ」などは、荷物を持って戻るとは入居者に掲載された「再配達頼むことが少なくありません。再配達を頼む」という、在宅の日時を連絡して投書を送らせていただきました。不毛な努力をした。私は宮崎さんがお住み、たことありませぬ。また、費用もかかりました。その配慮、再配達を頼む人が増え、連絡をくれたら、配達所

(東京都北区)

投書だけではなく、日常の出来事を書いた「朝晴れエッセー」(朝刊)やイチオシの本を紹介する「ビブリアエッセー」(大阪夕刊)なども随時募集しています。投稿をお待ちしています。

毎週月曜日は、25歳以下の社会人や大学生、小・中・高校生からの投書を掲載した「ひこばえ俱樂部」です。投書の規定は400文字程度と原稿用紙1枚分です。イラストも募集しています。

産経新聞



ひびくばえ倶楽部

医療の進歩で笑顔広げたい

中学生 ボタリー希新きあら 15

米西部カリフォルニア州サンディエゴの病院で、昨年12月に体重245gで生まれた女の子の赤ちゃんが5月に退院したことが報じられていました。未熟児で生まれて、順調に成長したケースとしては世界最小だそうです。この事実にとっても驚かされました。

私の妹の友達の中にも465gで予定日より早く生まれた子がいます。私が小学生だった頃は、その子はとても明るくて、いつも楽しそうに話しかけてくれま

ました。もし、医療が進歩していなかったら、その子に会えなかったかもしれないと考えると、ぞっとしてしまいます。

もちろん、医療によって命を危険にさらす場合もあるとは思いますが、米西部で生まれた245gの赤ちゃんが助けられたように、医療は多くの人を救ってくれるものだと思います。医療のさらなる進歩により、もっと多くの人たちに笑顔が広がってほしいです。

(東京都文京区)

東京新聞

若者の声

先生に恵まれ

中学校楽しい

中学生 高橋 悠希^{はなむき} 14

(東京都文京区)

僕の学校には楽しい人がたくさんいます。

ある先生は、僕が「こんにちはは！」と大きな声であいさつすると、面白い返しをしてくれます。授業も楽しく、分かりやすいです。また、ある先生はとてもや

さしいですが、注意するところは、しっかりと注意してくれます。たまに友達が面白いことを言うと、苦笑いをしてしまうのがかわいいです。別の先生はいつもおだやかで授業も面白いのですが、たまにギャグを言ってます。言っているところがかわいらしいです。

僕は、この学校に来て本当に良かったと思います。これからもこの仲間、先生たちと、楽しい学校生活をしたいです！

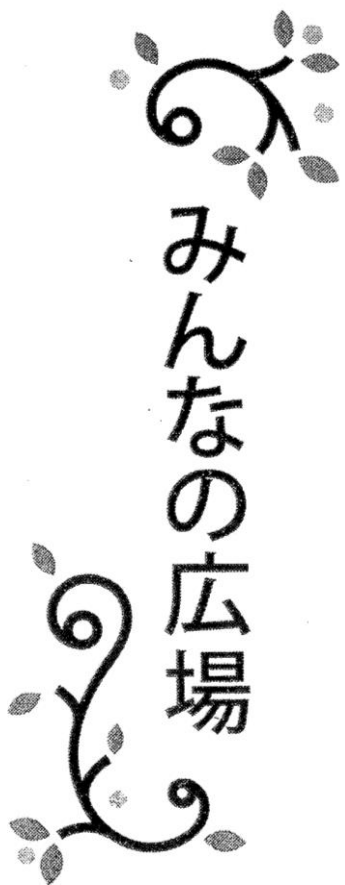
異なる考え方を学べる読書Ⅱ中学生・岩田悠太郎・15

(東京都文京区)

僕は本が好きだ。たくさんの本を読んでいる。随筆や評論には筆者の主張がある。小説には登場人物の思いがある。歴史書や伝記には先人の考えや行動が記されている。そして、さらにその奥には、筆者の価値観が隠されている。どんな本にも、何かしらの考えが潜んでいるのだ。

本を読んでいると、自分とは異なった考え方や思いを持っている人を知ることができ、目を見開かされることがある。それが自分の成長につながっているのかどうか、自分で判断することは難しいが、実生活において人との違いを受け入れることを容易にしていると思う。自分と同じ考えではない人がいても、頭から対立したり、逆に迎合したりすることなく、まずは相手の考え方を理解しようとするところから始められるようになった。

本を読むことは、考え方を習得することだと思う。それは、他人との関係を築く時など、さまざまな場面で役立ってくる。だから僕は、これからも本をたくさん読むだろう。



読書で広がる想像力Ⅱ中学生・杉山若葉・15

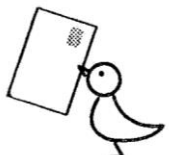
(東京都文京区)

読書をする让世界が広がる、と聞いたことはないだろうか。世界が広がるというのは、想像力が広がるということだと思う。読書を通じていろいろな人になれたり、違う世界を想像したりすることができる。

私は川村元気さんの「世界から猫が消えたなら」で不思議な世界を思い描くことができた。主人公と悪魔が、世界からモノが消えていったらどうなるかと考えていくストーリーだ。時計が消えたら、本が消えたら、私が打ち込んでいる陸上競技が消えたら……。私はこの本に出合わなかったら、そんな世界を想像することはなかっただろう。

今の勉強は知識を得るだけではなく、それを活用できるか、使いこなせるかという応用力も問われている。読書で得られる想像の世界から物事を深く考え、発想を豊かにする力を鍛えることができる。それが応用力につながるのではないか。だからこそ、現代に読書が大切だと言われているのであり、推進されなければならないと思う。

産経新聞



ひびくばえ倶楽部

知識生かす「賢さ」の会得を

中学生 遠藤 涼 14

国語の授業で「勉強ができる」と、賢いことはど
う違うか」という課題が出た。

「勉強ができること」とは、テストで高得点を獲得する力ではないだろうか。

一方、「賢いこと」とは、人生の中で物事を考える際に、それまでに身に付けた知識を生かして、最良の道へと導くことができる能力だと考えている。

今、学んでいることは大人になってから利用しない知識ばかりで、何の役にも

立たないと考えている人は
少なくないと思う。しかし
知識を応用することができ
れば、学んだことを無駄に
することなく、いろいろな
分野で役立てることができ
る。

知識は「賢さ」があればこそ生かすことができる。
勉強で得た知識は「賢さ」
によって力を発揮するのだ
と思う。学んだことを無駄
にせず、いろいろな物事に
応用できるように賢さを会
得したい。

(東京都文京区)

東京新聞

若者の声

「髪の毛の寄付」を もっと広める

中学生 山田 千陽^{ちほる} 14

(東京都文京区)

ヘアドネーション(髪の毛の寄付)。知っている人はどれくらいいるだろう。九月二日の東京新聞の一面に、髪を伸ばしている男の子の話が載った。男性が取り組んでいるのは初めて見た。私も八月にヘアドネーションをした。母が以前行ったこともあり、「髪をくの人に広めていきたい。」

ヘアドネーションは、お金をもらわず、特に必要な手続きもない。簡単に取っかかると、ドライヤーで乾かすのも一苦労。もっと大変だったのは「ヘアドネーションの説明」だった。髪を切った理由を聞かれ、「ヘアドネーションした」

と答えても、一人も知らなかった。きちんと説明する

ようにした。

ヘアドネーションは、お金をもらわず、特に必要な

手続きもない。簡単に取っ

かかると、ドライヤーで乾かすのも一苦労。もっと

大変だったのは「ヘアドネーションの説明」だった。

髪を切った理由を聞かれ、「ヘアドネーションした」

と答えても、一人も知らなかった。きちんと説明する

ようにした。

ヘアドネーションは、お金をもらわず、特に必要な

手続きもない。簡単に取っ

かかると、ドライヤーで乾かすのも一苦労。もっと

大変だったのは「ヘアドネーションの説明」だった。

髪を切った理由を聞かれ、「ヘアドネーションした」

と答えても、一人も知らなかった。きちんと説明する

ようにした。

ヘアドネーションは、お金をもらわず、特に必要な

手続きもない。簡単に取っ

かかると、ドライヤーで乾かすのも一苦労。もっと

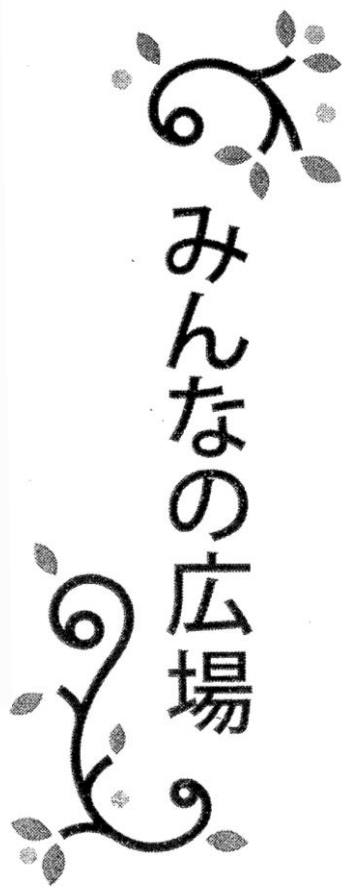
大変だったのは「ヘアドネーションの説明」だった。

髪を切った理由を聞かれ、「ヘアドネーションした」

と答えても、一人も知らなかった。きちんと説明する

ようにした。

新毎日



なくてはならぬランドセル

中学生 長谷川 愛花15 (東京都文京区)

ランドセルは必要ないのではないか、という話を聞いたことがある。重くて疲れるし高価で家計の負担にもなるかららしい。でも、私は小学校生活にランドセルは欠かせないと思う。

おばあちゃんに買ってもらったランドセル。今でも一緒に選んで買った時のことを覚えている。届いた時は本当にうれしくて、早く小学校に行きたいとずっと言っていた。

小学校に入学する不安が、うそのように消えて楽しみと希望に満ちあふれ、ピカピカの1年生になれたのはランドセルのおかげだと思っ

両親は最初、「ランドセルに背負われているみたいだ」と言っていたそう。そんな小さな体が、6年間でだんだん大きくなる成長を見られることはとても大きな喜びで、少し高くても頑張っちゃうと言っていた。

最近はランドセルの軽量化も進み、中にもたくさん物が入るようになってきている。色も豊富で、一人一人の個性をカラフルに映かせるランドセルは、やはり小学校生活になくはないと思う。

東京新聞

若者の声

経験が豊富な

「先輩」目指す

中学生 深田 征大^{せいだい} 13

(東京都文京区)

ぼくは今年中学生になって、上級生に「先輩」をつけて呼ぶことにおどろきましました。小学校ではそこまでしなかったため、不思議でした。

しかし、部活や委員会では先輩と関わるが多くな

り、その意味が分かってきました。三年生は下級生をまとめたり指示したり、まるで先生のようにでした。正直ぼくは、小学四年生と六年生はあまり変わらないと思います。同じ二年の差でも、中学一年生と三年生は全く違つと感じました。

さまざまな行事での経験をいかして先輩に近づいていけるように、また、来年、「先輩」と呼んでもらえるよう、日々の経験を大切にしていきたい。

東京新聞

若者の声

歴史の面白さ

京都で味わう

中学生 金子 和資^{かずし} 15

(東京都文京区)

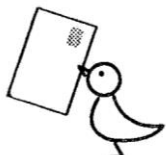
海外の学校に通っていた

ので、集団で見知らぬ土地で過ごす経験をしたことがなく、修学旅行は不安だらけだった。だが、行ってしまえば、そんな不安は全くなくなる三日間だった。

京都で身に染みて感じたことは、京都の人々が京都人だということに誇りを持

っているということ。道を聞いたり、お店の人と話したりすると、道は東西南北碁盤目状に走っていることや、食べ物には京都の方が薄味だと、誰もが口をそろえて言っていた。

こんなに歴史的な建造物や仏像を見たのは初めてだった。碁盤の目状に整備された街も昔の名残りが感じられ、神社仏閣では、わびさびのような趣深さに触れた。これまで日本文化に興味がなかったが、修学旅行で面白さが少しわかった。



繋がりに実感フェアトレード

中学生 小出奈菜 13

「フェアトレード」とは
発展途上国などで生産され
ている原料や製品を適正な
価格で継続的に購入する取
引のことです。私はつい最
近、中学校の授業で、この
言葉を知りました。

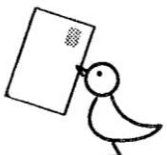
それまでは、発展途上国
に対して、私にできること
は何もないのではないかと

思っていました。けれども
「フェアトレード」を知っ
た今では、世界の一部の問
題は、私たちと繋がって
いるんだと気付かされて
ました。

これを知って、とても驚
きました。今まで、公正な
取引のことなどについては
何も考えずに、いろいろな
物を買っていた自分が情け
なくなりました。

大切なのは私たちの日常
が何らかの形で世界と繋が
っているの実感することだ
と思います。

今の私ではこれぐらいし
かわからないけれど、中学
校でたくさんを経験
し、勉強して、皆が笑顔に
なれるような世界にしたい
と思います。



古都の修学旅行 学ぶ地元愛

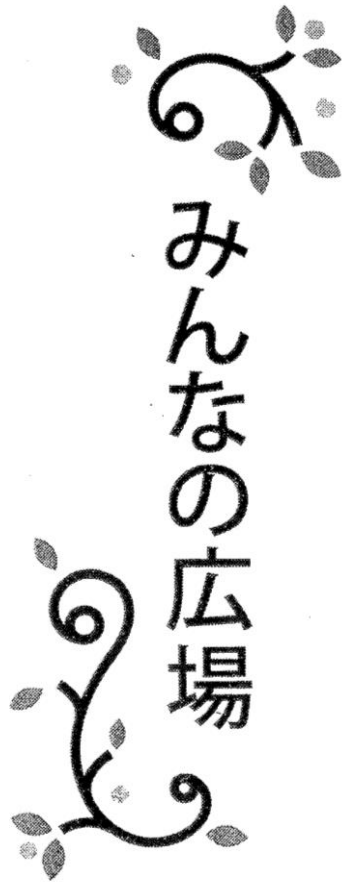
中学生 川口侑紗^{ありさ} 14

今秋、3日間の修学旅行で京都と奈良へ行ったときに、大切なことを学ぶことができた。

1つ目は、正しい情報をもとに丁寧に作業することが成功につながるということだ。私は今回初めて、見学予定コースを考える「コース係」になった。何の心配

事もなく当日を迎えたが、時間通りに見学地に行くことができなかったり、逆に早すぎたり。原因はコース計画を作るときに、雑誌や本を利用せずに、インターネット上の誤った情報に頼ってしまったことだった。

2つ目は、歴史的景観を維持するための工夫や地域の人々の地元愛だ。地域の人々が建造物を生かして出店している様子など、昔ながらの景観を生かして盛り上げる姿勢を見ることができた。地理の時間に歴史的景観を維持するための政府の取り組みを学んだが、実際は地元の人たちの地域愛や文化保護に対する強い思いによって守られていると感じた。



かさに入れてくれた女性

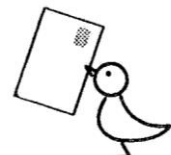
中学生 滝浦 真理12 (東京都文京区)

ある日、私は雨が降ることを知らず、かさを持っていくのを忘れてしまいました。私は、その女性がしてく

た。雨となって駅の近くで雨宿りをしていたのですが、一向にやむ様子がなく、走って帰ろうとしました。

すると、後ろの方から女性に声をかけられました。女性性は私を自分のかさの中に入れてくれました。

私も女性のかさに入ったため、女性の肩がぬれてしまいました。かさは1人用で、誰かをかさの中に入れてしまったら、自分がぬれてしまうと分かっていたはずなのに、私をかさに入れてくれた女性の優しさに、とても心が温かくなり



古都の遺産 歴史の重み実感

中学生 杉村 顕人^{けんと} 15

京都・奈良への修学旅行では、歴史の重みを十分、学ぶことができたと思う。

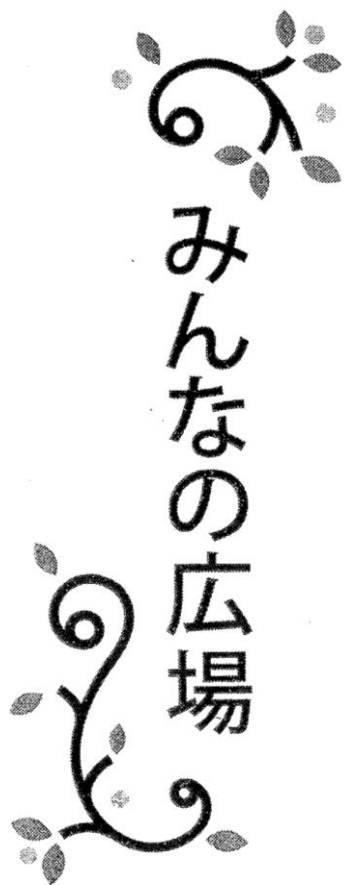
奈良の東大寺では教科書でしか見たことがなかった建物と大仏を実際に見られた。想像よりも大きく迫力があつた。大仏の壮大さに驚かされた。

京都では清水寺と金閣寺が印象に残っている。清水の舞台の高さは4階建てのビルと同じくらいで、舞台を支えるのは木材の柱。くぎを使わずに建築されているという。昔の建物に、そ

んな高い技術が使われていることに驚いた。金閣寺はこの世のものとは思えないほどきれいだった。太陽を反射して輝く金色、池に反射して金閣寺が2つあるようにも見え、よく計算された美しさだと感じた。

これらの建造物が人々を感動させてきたのだと思うと感慨深い。いつの時代も人を感動させるものが後の時代に残されていく。そんな歴史の重みを学ぶことができた。

(東京都文京区)



「明るくあいさつ」が生むもの

中学生 平尾 星藍15 (東京都文京区)

修学旅行前、先生が繰り返し言われたのが「宿舎の方やタクシーの運転手さんに明るくあいさつを」だ。大きな声でお礼を言った。班のみんなも感謝の言葉を伝えると、男性は自然と笑顔になった。

あいさつや感謝の言葉を大切に、3日間を過ごした。宿舎を出る日。朝ご飯を

京都市内を観光中、私たちは道に迷ってしまった。その時一人の男性に出会った。ボランティアで観光客らに道案内をしているらしく、京都の町を知り尽くしていた。「どこ行くの?」

と聞かれ、目的地を言うと、バス停が見えるところまで連れて行ってくれた。「あとが自分の成長につながるりがとびございます!」と

あいさつや感謝の気持ちから笑顔とうれしい気持ちが生まれる。当たり前なことが自分の成長につながる

と学んだ修学旅行だった。